

シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	道路施設	小分類	交通施設	シミュレーションモデル名	AVENUE				
概要	適用事例名	松山市駅西駐車場増築における周辺交通への影響評価について							
	目的・概要	本事例は、松山市駅西駐車場(1150台)の増設(250台)計画に伴う周辺交通への影響評価を行うことを目的とする。							
	本事例におけるモデル適用上の特徴	本事例では、踏切を組み込み、列車のダイヤにあわせて開閉させた。							
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	松山市駅西駐車場周辺(600m×500m)			対象時間帯	休日 9:00~12:00			
	評価対象時期	現況(平成10年度)、増設後(平成12年)							
	対象道路網	国道56号線、県道							
	ネットワーク規模	ノード数	23	リンク数	42	起終点ノード数	9	総トリップ数	12166
		一般街路ネットワーク		交差点数	7	信号交差点数	3	道路区間数	18
		自専道ネットワーク		分岐部数	—	出入口数	—	道路区間数	—
	特記事項								
	(ネットワークの概略図面を添付)								
									
入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度						
		交差点部	飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数						
		合流部							
	信号制御	設定パラメータ	信号現示、オフセット						
		作成方法	実測データを用いる						
	交通需要	設定単位	OD 交通量						
		作成方法	現況交通量: 交通量調査(平成9年)の各交差点交通量及び右左折率より推定 開発交通量: 松山市駅西駐車場の時間帯別発生集中交通量、方向別比率、アクセス経路から設定						
		空間単位	道路端点						
時間単位		15分単位、3時間							
	車両属性区分	小型車、大型車の2種類							
	その他								
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式, 1秒/1スキャン							
	パケットサイズ	1台/パケット							
	経路選択原理	旅行時間をコストにした確率的経路配分、5分毎に更新							
	特記事項								
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	各交差点流入部の飽和交通流率						
		方法	断面交通量が等しくなるようにパラメータを調整						
	検証方法	断面交通量を用いた検証							
	検証用データ取得方法	済美高校前交差点、北藤原交差点、港町6丁目(いずれも国道56号線の交差点)の方向別交通量を調査							
出力データ	1) 駐車場出入口の滞留長								
記入者	所属機関・部署	(株)熊谷組 土木本部 社会システム部 交通システムグループ					氏名	永田尚人	
	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-9350	E-mail	hnagata@ku.kumagaigumi.co.jp	HP	http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/escote.html	
公表文献・資料等									